

桜の友

第43号

共立女子第二高等学校同窓会
八王子市元八王子町1-710
Tel042(661)9952

会長のご挨拶

小室 洋子

昨年も一昨年を上回る猛暑が続き、秋を感じる間もなく今冬も大寒波による大雪、年々異常気象に悩まされる今日この頃ですが、会員の皆様におかれてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、冬季オリンピックの今年は、四年に一度の同窓会総会懇親会の年でもあります。母校で十月十七日土曜午後に開催予定です。夏頃案内状をお届けしますので、ぜひ皆様お誘いあわせの上ご出席くださいませ。なお、終了後にクラス会やOG会などを企画される場合にも同窓会より援助いたしますので事前にお知らせください。詳細は“さくらつうしん”に記載してあります。

晴山誠也先生の後任として

佐藤 聖一

卒業生の皆様いかがお過ごしでしょうか。日頃より母校の発展に向けご支援をいただき感謝申し上げます。令和七年四月に着任しました佐藤聖一と申します。ご挨拶が遅れましたが、どうぞよろしくお願いいたします。

二中高の教職員が一丸となつて、共立女子学園の校訓である「誠実・勤勉・友愛」の実践並びに、大学等の卒業後には自分の住む地元を支え元気にする女性の育成に尽力してまいります。

さて、中学校と高等学校が担う役割の一つとして、確かな学力の定着があげられます。そのためには、先生方一人一人の教科の専門性や授業力の向上、生徒の学習環境を整えることが重要です。今日の社会に山積する

正答なき課題に向き合い、よりよい解決策を提案していくためには、中学校・高等学校における学習内容を確実に身に付けていくとともに、それに基づく思考力や判断力、表現力を身に付けること、更には、自分の考えを自分の言葉で分かりやすく発信できることが重要です。

今年度、二中高の先生方は、あらためて生徒が「できた・分かった」を実感する授業作りに向け、自身の授業を見つめ必要な改善を加えています。生徒から「月曜日の授業が待ち遠しい。」、授業終了後には頭を使いすぎて「とても疲れた。」などの言葉が発せられるよう研鑽を積んでおります。一方、自学・自習の環境作りとして、十九時まで普通教室での自学自習、地下一階オープンスペースの自習環境の整備と開放、並びに夕方

の空腹を少しだけ満たす食品自販機の設置など、居心地よく勉強したくなる環境作りにも取り組んでいます。

今後、生徒一人一人の希望進路の実現に向け、本校教職員が一体となり取組を進めていきます。



第五十二回生 成人を祝う会

二〇二六年一月十二日（月曜日）、京王プラザホテル八王子にて、第五十二回生の二十歳を祝う会が行われました。約四十名の卒業生の参加に加え、高校三年間あるいは中高六年間お世話になった、松本先生、寺中先生、友廣先生、内藤先生、野口先生の計五名の先生方にお越し



いただきました。卒業生はお世話になった先生方や久しぶりに再会した友人と卒業後の会話に花を咲かせ、また、先生方同士でも卒業生の晴れ着姿を感極まり眺めている様子が見られました。

今年度の二十歳を祝う会では、お世話になった先生方に卒業生から色紙をプレゼントしました。先生方に喜んでいただけたいことをとても嬉しく思います。また、幹部が企画し作成した、先生方からのメッセージ動画と立食パーティー

画と立食パーティーを楽しみました。ご参加いただいた先生方に加え、ご都合により会に参加することができなかった先生方からもメッセージを頂くことができ、一人の二代の大人としての自覚と責任感を持ち、後悔のないように日々を大切に過ごそうと感じま

した。

私たち五十二回生は、新型コロナウイルス感染症の影響で、白垂祭など一部の学校行事を行うことができない学年でしたが、今回のこの機会に友人たちとの懐かしい思い出を振り返り、楽しむことができたように感じます。

今回は二十歳という大切な節目であるとともに、新たな門出



を祝う会となりました。これまで私たちを育ててくれた家族やお世話になった方々への感謝の気持ちをお忘れずに、日々精進して参ります。会の開催にあたりご協力いただいたホテルのスタッフの方々、先生方、同窓会の皆様に深く感謝申し上げます。

第五十二回生 石橋 茉奈

第八回生
三年一組クラス会

二〇二五年四月三十日に、八王子にて第八回生一組の同窓会を開きました。多くのクラスメイトと卒業以来の再会となりましたが、あこのころの私達に戻るのが多くの時間は必要ありませんでした。美味しい中華料理を食べながら高校生当時の無邪気な思い出話や、会えなかった時間を取り戻すかのようにワイワイ、ガヤガ



ヤ、ゲラゲラと本当に楽しい時間を過ごすことができました。

三つ子のママとしての奮闘ぶりや、親の介護の苦労話もありました。また、大学入学後に進路変更決めて歯科医の資格を取得した話、地元八王子を盛り上げるための活動を継続している話など、一人ひとりそれぞれの経験や体験談は私達のこれからの励みとなり、「まだまだ楽しむよ!」という前向きな気持ちにさせてくれました。

八回生三年一組は恩師の新谷先生が唯一担任として卒業させたクラスです。その当時は新谷先

生もまだ三十歳と若く、先生というより兄のように気楽に冗談をかわせる存在でした。今回、久しぶりにお会いしても相変わらず楽しく、気さくに話をする事ができました。現在も民俗学の研究活動の一環として、執筆、講演またテレビ出演をされている新谷先生のことを私達はみんなとても尊敬しています。

今回のクラス会で、新谷先生とクラスメイト、そしてサブライズ登場してくださった河先生と久しぶりに会えて本当に嬉しかったです。一次会では時間が足りず、二次会、そしてパフェを食べながらの三次会まで話しがつきるところはありませんでした。互いの話に共感し、名残惜しみながら、次のクラス会までみんな元気であることを約束して散会となりました。

第八回生 北沢 緑
能西 陽子

晴山誠也先生の謝恩会
二中一回生同窓会開催

二〇二五年十一月十六日の日曜に昨年の三月に定年退職されました晴山誠也先生へ、今までの感謝の気持ちを伝えする謝恩会と共立女子第二中学校の第一回生の同窓会を兼ねた会を、八王子にあるレストラン「SCENE」にて開催いたしました。

当日はお天気にも恵まれ、会には、すでに退職されている小室洋子先生にもご出席いただき、三十四名参加のとても賑やかな会になりました。最初に晴山先生よりご挨拶をいただき、懐かしい思い出話や先生の近況などを聞かせていただきました。その後、小室先生に乾杯のご発声をお願いしました。十年前にも一度同窓会が開催されましたが、今回初めて参加で高校卒業以来の再会となった方も多く、懐かしい仲間同士思い出話に花が咲きました。途中、ランダムにくじ引きを



人生を歩み、各方面で活躍し、頑張っている同級生同士刺激をもらうことができた、とても素敵な会になったと思います。

第十八回生 坂本 直美

第八回生 三年三組クラス会

二〇二五年十一月三十日に、八王子にて第八回生三組の同窓会を開きました。

黄金色のイチョウがテーブルに置かれ、甲州街道を走るスクールバスからの車窓に思いを馳せ、二高への登校気分になりながら、石川敬逸先生を囲んで、近況のお話で盛り上がりました。今の二高の様子もお聞きして、話題は陸上・スポーツ・健康のことや、お子さん、お孫さんや年金へと話がつきませんでした。賑やかな三年三組の休み時間の教室の傍らにいてくださる石川先生と、当時のままの思い出が呼び起されました。



同い年ならではの楽しく尊い時、これからの再会も楽しみにしております。

第八回生 梶原 由紀子
坂本 宣子



母校の香り

私たちは二〇二五年、六年間または三年間過ごした共立女子中学校高等学校を卒業しました。私が高校に進級した際には、新型コロナウイルスによる制限も徐々に緩和され、以前の学校生活へと戻っていききました。高校一年ではクラスメイトとともにニュージランドへの短期留学に参加しました。多様な文化に触れ、自分の世界が広がったことを覚えています。高校二年では、白亜祭の後夜祭パーティーリーダーを務めました。初の体育館開催に向けて、有志の方やクラブの部長などと共に後夜祭を作り上げられたことは、私にとって忘れられない経験です。こうした共立で過ごした日々を振り返るとたくさんの人に支えられていたと感じます。これからもこの縁と経験に感謝し、進んでいきたいと思えます。

第五十三回生副会長

米村 帆音子

今回、大変お世話になりました。恩師への感謝の気持ちをお伝えできたこと、またそれぞれの

行い、当たった方に「中学高校で一番思い出に残っていること」や「近況報告」などをお話ししてもらい、大変盛り上がりしました。最後、晴山先生と小室先生に感謝の花束をお渡しし、皆で記念撮影をして、あっという間に二時間が過ぎ、なごり惜しい気持ちの中、次回は還暦になった時に集まりましょうということでお開きになりました。

特別企画 食育について

共立女子第二中学校では、二〇一一年度より七号館のランチルームにて、食育を行って、今年で十四年目となります。二〇〇五年に成立した食育基本法では、子供たちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには、何よりも「食」が重要で、生きる上での基本であり、「知育・徳育・体育」の基礎となる食育を推奨するのことから、二中高でも生活全般に



わたって何か良い効果が生まれるのではないかとということ、食育を始めました。二中高の食育では、食事を楽しみながら、食について考えるきっかけ作りをコンセプトにしており、食習慣を身に付ける時期である中高生に、食に関する知識の提供だけでなく、食を通じてさまざまなことに興味を持たせたいという思いで取り組んでいます。

食育のテーマは、学期毎に管理栄養士の方と食育の担当の教員で決定しています。一人の生徒が食育の食事を食べられるのは、学期に一回程度となりますが、毎日指定された一クラスの生徒が、昼休みにランチルームにやってきて、食事をします。昼休みは四十分と短く、教室の移動時間もあるので、配膳はできるだけ短縮できるように、温冷配膳車を用いています。ご飯と汁物は食事の参加体験のひとつとして、生徒がワゴンで配膳を行っています。食事の初めに十分程度、メニューの説明が書いてあるプリントを見つつ、管理栄養士の講義を食べながら聞

きます。食育のメニューは、行事・旬の料理、郷土料理、栄養学的な知識を得る料理があり、毎回管理栄養士の方が作成したミールニュースの発行があります。二〇二五年度の第一回の食育のテーマは、「食事のマナーと食物繊維」で、箸の取り方・持ち方、食物繊維について教わりました。メニューは、アジの焼南蛮漬け、納豆オクラのおろし、ごぼうとひじきの和風サラダ、十六穀米、フルーツ白玉でした。

の修学旅行に合わせて、奈良・京都の郷土料理が出されました。メニューは、牛肉豆腐、はりはり和え、にゅうめん、関西風のお月見団子でした。

食育をしたことにより、生徒たちからは、「栄養バランスを考えるとようになった。」「食事の旬を気にするようになった。」「基本的な生活をきちんとやるようになった。」と、このような感想がありました。

私自身も、在学中に食育を経験して、クラスメイトと同じものを同じ空間で食べる楽しさと、食に関する知識を得ることができました。また、食育の他にも、朝に食券を購入し、管理栄養士さんが作って下さった日替わり弁当を食べることもできました。



第二回は、「免疫力を高める食材〜寒くなる季節に備えて、免疫力を高めよう〜」というテーマでした。また、中学三年生

第五十三回生 菅井 結月
西村 佳純



白亜祭



共立女子第二高等学校で文化祭「白亜祭2025」が開催され、校内は朝から活気にあふれていました。今年のテーマは、「《Leading role》」。クラス企画や部活動の展示、ステージ発表などがたくさん催しものが行われ、在校生や保護者、来場者の方々が一緒になって楽しめる文化祭となりました。

廊下にはカラフルな装飾や手作りのポスターが並び、歩いているだけで気持ちが明るくなるような雰囲気でした。クラスごとのゲーム企画やカフェ風の教室は特に人気で、友達同士で写



真を撮ったり、企画を体験して笑い合ったりする姿が多く見られました。どの企画にも「来場された方に楽しんでもらいたい」という生徒の気持ちが感じられました。

ステージ発表では、ダンスや音楽など、生徒の個性がしっかりと表れた。パフォーマンスが続き、会場からは大きな拍手が送られていました。

今年の白亜祭の賞はJC賞が中学三年の保護猫、JK賞が高校一年一組 AMERICAN RETRO CAFE、ベストスター賞は吹奏



楽部、グッドデザイン賞は中学三年のGO!GO!トロッコ
 GO 京都・奈良、ユニフォーム賞は高二年一組、校長賞は高三有志の5くみんず、そして、白亜祭大賞は何と中学三年のGO!GO!トロッコ GO 京都・奈良でした



我々同窓会係も、例年と同様に休憩室を設けさせていただきました。東北・能登復興支援のお菓子などの販売をしました。多くの方が購入してくださいました。卒業しても、このように白亜祭に携わることができ大変嬉しく思います。

今年の白亜祭は、生徒一人ひとりの努力が合わさり、学校全体が温かい雰囲気にも包まれた文化祭となりました。来年はどのような企画が生まれるのか、今から楽しみです。



第五十三回生 神山 仁衣奈

窪田 苺紗

恩師は語る

シリーズ三千八

英語 高橋 学先生



Q. 教職に就いた理由は？

A. 実はあまり高い志を持っていたわけではないんです。なかなかまとまらな就職活動をしな私を心配した担当教授が「講師でもやってみてはどうか？」と最初の学校を紹介してくれました。仕事は楽しかったのですがまだ自分には何か足りないという実感したので、いったん海外放浪の充電期間を挟み、その後縁あって共立に来ました。

Q. 共立女子第二の印象は？

A. 最初はこんなに長く勤めることになるとは思わなかったで

す。一年目は大田の実家から通ったのでとにかく遠かったし、女子は難しそうで…。でも当時は同世代の若い先生たちが沢山いて毎日楽しく仕事ができました。東京とは思えない素朴な生徒たちや山がすぐ近くに見える環境も含めて「共立はいい学校だな」と思うようになりました。

Q. 定年が近いそうですが、退職後はどんな生活を？

A. 「ポツンと一軒家」のような田舎暮らしに憧れますが難しいかな。とにかくたくさん本を読んだり、趣味の釣りでもしながらのんびり暮らすつもりです。

Q. 最後に卒業生へ一言。

A. 長年の教員生活の中で多くの生徒と出会えたことは私の宝物です。皆さんがこの世のどこかで元気に活躍されていることを願っています。学校に遊びに来るなら、ぜひ私がいるうちに来てくださいね！

第五十三回生 石原 恵結

赤澤 七穂

落合 真帆

国語 吉利 勲先生



Q. 共立女子第二に勤めて何年目ですか？

A. 今年で二十一年目です。

Q. 教員という仕事を選んだきっかけは何ですか？

A. 中高時代の素晴らしい先生方との出会いです。その先生方が「ありのまま」の自分を受け容れて下さったことが私の原点です。私は人間全体を育てることに興味を持っていたので、最終的に中高の教員という道を選びました。

Q. 共立女子第二の魅力は、ズバリ何だと思えますか？

A. 生徒同士、先生と生徒、先生同士の、心と心の触れ合いがあることです。立場の垣根を超えた人間同士の関わりが溢れているように思います。

Q. イチオシの学校行事は何ですか？

A. 白亜祭と体育大会です。白亜祭は、性格も熱量も異なる者同士、いかに協力して一つのものを創っていくかを学ぶ場だと思います。また、発想と工夫で無から有を生み出すところも実に魅力的ですね。体育大会は、教員主導から、二年前に生徒からの訴えにより実行委員会が発足したことで、カラーが大きく変わりました。先生と生徒が意見を出し合いながら、砂川体操や高三輪ダンスといった伝統を継承しつつも、より盛り上がる体育大会を目指して、毎年ブラッシュアップを重ねています。

Q. 最後に卒業生へのメッセージをお願いします。

A. まずは、自分らしさを大切にしてください。「こうあらねばならぬ」という固定観念に縛られず、自然体を貫いてほしいです。皆さんの活躍を心より応援しています。

第五十三回生 金子 ひな

中村 亜華里



§お知らせ§

▽総会・懇親会開催について

《日程等》

今年度は総会・懇親会を、母校八王子講堂（大講堂）において、十月十七日（土）午後二時より開催する予定です。当日は講堂内で総会を、その後ロビーにて懇親会となります。軽食等は京王プラザホテル八王子様にお願いしております。

《案内状》

案内状の発送は七月ごろを予定しています。案内葉書に印字されたQRコードを読み込んで出欠等の返信をしていただくことになりました。郵便料金の値上げに伴い経費削減のためご理解ご協力をお願いいたします。なお不都合な場合は担当までお知らせください。

（担当 一條・森重）

《お願い》

懇親会を盛り上げるため、演奏等余興をしてくださる方を随時

募集いたしますので担当までお問い合わせください。
（担当 田中・宮崎）

§同窓会顧問より§

▽同期会・クラス会等援助

同期会・クラス会等の援助をしておりますが、昨年度よりクラブ同窓会（OG会）にも援助することになりました。クラス単位で八千円補助、宛名ラベルの印刷も無料で承ります。その他不明な点は代表者が担当までお問い合わせください。
（担当 宮崎・高島）

▽住所等変更のお届け

転居先不明で郵便物が戻らないようご協力ください。住所や地番、姓名等変更の際は、会員ご本人直筆の文書またはフックスで、同窓会宛に会員番号宛名下の五桁の番号、不明の場合は卒業年と担任名を明記の上お知らせ下さい。セキュリティの關係でメールではお受けできません。なお、ご友人からの連絡はご本人に確認致します。また値上げ前の葉書でお知らせいただけ

く際は不足分の切手をお貼り下さるようお願い致します。また、海外への発送等はお受けできませんので国内のご家族等のご連絡先をお知らせください。

▽能登半島地震被災者支援

同総会でできそうなご提案をお寄せください。例えば「白亜祭」にて販売、実演等、よろしくお願ひします。

※同窓会へのお問い合わせ等は左記の学校の代表電話、またはフックスでお願ひします。
☎ 042-661-9952
Fax 042-661-9953

※印刷物での会報誌を「ご希望の方はご連絡ください」
（担当 湊・一條）

§学校より§

▽進路指導部より

「職場体験」（中三対象十一月頃）「社会人の体験談や生き方講演」進路指導の一環として、右を引き受けて下さる方を求めています。ご連絡お待ちしてい

ます。

（担当 進路指導部主任 池田）

▽講師採用事前登録者募集

中学校・高等学校の教員免許をお持ちの方は履歴書を学校長宛にお送りください。状況に応じご連絡差し上げます。

▽白亜祭を応援して下さい！

今年も従来どおり開催される予定ですが、どの年代の方々にも思い出深い「白亜祭」、後輩たちの活動をボランティアで応援していただけたら幸いです。アイデアをお持ちの方はぜひご連絡ください。お待ちしています。
（担当 生徒部主任 石井）



《第五十三回生 幹事》

副会長 米村帆音子 (六組)

会計 岩田桂果 (二組)

幹事 金子ひな (一組)

中村亜華里 (一組)

土井愛菜 (二組)

菅井結月 (三組)

西村佳純 (三組)

神山仁衣奈 (四組)

窪田苺紗 (四組)

赤澤七穂 (五組)

石原恵結 (五組)

落合真帆 (五組)

梶田果歩 (六組)

桐本朋佳 (六組)

坂本紗世 (七組)

岩澤里英 (七組)

長谷川綾 (七組)

《第五十四回生 幹事》

副会長 金木くるみ (四組)

会計 佐野七海 (一組)

幹事 山田和花 (一組)

金子結香 (二組)

篠崎夏音 (二組)

菅村梓葉 (二組)

高橋安珠 (二組)

井上百花 (三組)

吉村紅玲 (三組)

徳永彩瑛 (四組)

《同窓会顧問教諭》

遠藤 彩 (五組)

高橋央夏 (五組)

伊藤優里 (六組)

佐野佑実 (六組)

高島千鶴子

湊 理香

田中元女

宮崎麻由

一條歩未

森重真央

主な学校行事

- 4月5日(日) 入学式
- 5月30日(土) 体育大会
- 7月19日(日)～8月31日(月)
夏期休暇
- 9月12日(土) 13日(日) 白亜祭
- 9月28日(月)～9月30日(水)
中学2年ブリティッシュヒルズ研修
- 9月29日(火)～10月2日(金)
中学3年京都奈良修学旅行
- 9月29日(火)～10月2日(金)
高校2年北九州修学旅行
- 12月23日(水)～1月11日(月)
冬期休暇
- 1月22日(金) 高校推薦入試
- 2月1日(月)・2日(火)・3日(水)
中学入試
- 2月10日(水)・12日(金) 高校一般入試
- 3月17日(水) 高校卒業式

2025年度 共立女子第二高等学校同窓会 会計報告

2026年3月31日

1.前年度繰越金	(A)	<u><u>6,328,427</u></u> 円
2.収入の部	(B)	
54回生同窓会会費		1,908,000 円
銀行利子		9,928 円
白垂祭		47,300 円
		<u><u>1,965,228</u></u> 円
3.支出の部	(C)	
桜の友印刷費(旧職員分)		86,790 円
// 郵送代		7,040 円
白垂祭		80,452 円
総会準備費		5,580 円
義援金		47,300 円
慶弔費		23,850 円
銀行手数料		220 円
同期会・クラス会補助		72,000 円
交通費		37,450 円
		<u><u>360,682</u></u> 円
○残高	A+B-C	
	6,328,427+1,965,228-360,682	<u><u>7,932,973</u></u> 円
		次年度への繰越金
○資産		
定期預金		<u><u>1,500,000</u></u> 円
	会計	52回生 石橋茉奈 53回生 岩田桂果

2026年度 共立女子第二高等学校同窓会 予算書

2026年4月1日

1.前年度繰越金		<u><u>7,932,973</u></u> 円
2.収入の部		
55回生同窓会会費		<u><u>1,788,000</u></u> 円
3.支出の部		
桜の友印刷費(旧職員分)		100,000 円
// 郵送代		10,000 円
総会懇親会費		3,000,000 円
案内状 印刷費・郵送代		1,200,000 円
通信費		10,000 円
学校行事支援費		100,000 円
運営費		50,000 円
交通費		50,000 円
事務費		50,000 円
予備費(慶弔費、クラス会・同期会補助)		150,000 円
雑費		10,000 円
		<u><u>4,730,000</u></u> 円